

「職業園芸人」を育てる

上田 善弘

園芸学部花卉園芸学研究室で約23年間教員として勤務し、平成17年に現在の岐阜県立国際園芸アカデミーに異動し、今年で12年目になります。現職に就いてからは研究業務はほとんどできず、教育を主な職務としてきました。千葉大学園芸学部の前身、千葉県立園芸専門学校と同様、県立の園芸専門学校です。ドイツの職人としての資格、マイスターにならないマイスター科一科からなり、学科内は花き生産、花き装飾、造園緑化の3コースとしています。目指すところは、花と緑の産業を担う「職業園芸人」の育成です。

園芸教育の基本は植物を如何に育てるかにあり、植物を栽培することから、植物を如何に利用するか（どのように飾り、植栽するか、さらに売るか）までを教えることにあると考えています。そのため、本校に入学した当初は学生すべてに生産、装飾、造園緑化の3分野を広く学ばせ、その後は各専門コース分野に特化した教育を受けさせます。もともと、歴史的にみても造園は園芸の一分野であり、両分野は不離一体のものであったと思います。当会報の33、34号によると（小泉力氏投稿記事）、千葉県立園芸専門学校草創当時の講師、林脩己先生は花卉園芸と庭園実習の授業を担当され、今も残る松戸キャンパスの庭園を生徒の実習で施工するとともに、多彩な草花を栽培されたそうです。

私は現職に赴任して以来、造園分野の授業で庭の施工現場を見る機会が多く、西武ドームでの国際バラとガーデニングショーなどのイベントで、庭の出展に関わったりと造園の現場を知ることができました。また、毎年開講している園芸文化演習という授業では、私が担当教官となり、学生を引率、京都迎賓館で造園の専門家の指導のもと実習を行い、日本の文化・伝統技術の粋を尽くした建物と庭を視察し、庭屋一如の空間を実体験します。

最近、業界からより実践力のある人材が求められています。それに見合った学生を送り込めない状況があります。この要望に応えられる人材の育成が急務とされ、実践的な職業教育の質の向上を図ることを目的とし、専門学校の文科省による職業実践専門課程としての認定が平成26年度から進んでいます。さらには、2019年度開設を目指し、中央教育審議会は、実践的な職業教育を行う新しい高等教育機関として「専門職業大学」（仮称）を制度化するよう文科相に答申しています。

このような状況のなか、園芸業界の将来を考えると、その原点に立ち返り園芸と造園の融合した幅広い知識と実践的な技術をもった「職業園芸人」の育成に業界をあげて取り組む必要性を感じています。

花葉

2016
NO.35

目次

禁無断転載

私の提案 「職業園芸人」を育てる.....	上田 善弘 (1)
大変ですよ.....	安藤 敏夫 (2)
植物命名規約を読む.....	長岡 求 (6)
花業界は戦国時代.....	齊藤 正二 (11)
広島の花市場として ～産地開拓～.....	寺下 貴之 (15)
林脩己先生と花卉園芸.....	小泉 力 (19)
表紙解説 新種のコノブシス.....	長岡 求 (24)
花葉会海外園芸事情調査報告 「平成28年度花葉会海外ツアー 東チベット」に参加して.....	高野 恵子 (25)
北海道のガーデナーとしての日々.....	富木 悠 (29)
続「おもてなしの花づくり」を考える.....	林 角郎 (34)
自叙伝抜粋 私の園芸人生.....	野田卯一郎 (39)
2016年花葉会見学会&交流会 レポート.....	久保田芳久 (45)
花卉園芸学研究室レポート(松戸キャンパス) 花卉研究室のいまについて.....	久保田一輝 (49)
花卉園芸学研究室レポート(柏の葉キャンパス) 日々の生活にある学び.....	村岡 巧 (50)
園芸別科花組レポート 花組を振り返って.....	佐藤 由喜 (51)
花葉会総会 (52) 花葉会賞受賞者紹介・記念講演 (56)	
皇太子同妃両殿下 千葉大学環境健康フィールド科学センターをご視察 (61)	
会員名簿の追加と訂正 (62) 一般社団法人 花葉会定款 要綱・幹部会員名簿 (63)	